

メロンと いちごの 一年



メロン

苗づくり

(十二月中旬)

メロンづくりの第一段階ともいえる種まきは十二月中旬に行います。

種はまく三十分ぐらい前に水にひやし、発芽しやすいようにし親床に箱まきします。箱の大きさは縦三十センチ、横六十七



ぼくも、わたしも大好きだよ果物は……

センチぐらいの大きさに深さ四センチぐらい土を入れ、その中に一五〇粒ぐらいまきます。まいてから三〜四日で芽がでてきます。

移植は種をまいてから十〜十四日ぐらいの間に行い、その後定植します。この間、地温は二十度ぐらいに保ち、最高で日中三十度までとします。

定植準備

定植七日〜十日前までに畑に肥料等を入れ、耕起した後ベツ

トを作りマルチおよびトンネル掛けをして、地温十五度〜十八度になったら定植します。



ポットへの植え付け

植え付け

(一月上旬)

株間三十五〜四十七センチとし、

わたしたちを知っていますか、みんなの大好きな食べもの……「メロン」と「いちご」です。メロンさんはウリ類に属しますが、いちごさんは果実を食用とする野菜なんです。わたしたちの町でもこの所、生産が徐じよに伸びているんだって。

いったいわたしたちがみんなの手元に届くまで、どんなふう育てられているか知っていますか。農家の人に色々手入れをしてもらい、大きくなるんだよ……。見てください。わたしたちの一年を紹介するから。

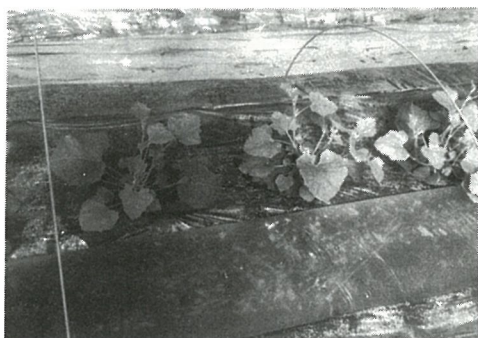
うねの中央のマルチングのフィルムに穴をあけて、本葉四枚ぐらいの苗を植えます。

二本仕立ての場合は本葉四枚で摘芯をし、一本仕立ての場合はそのまま定植します。

整枝

株ごとに支柱を立て、主枝はそのままのばし、二十三〜二十五節で摘芯する。摘芯する子づるが各節から発生するので十〜十五節めくらい

のものを結果枝として残り、三節で摘芯しほかのつるは早目にかきとります。



定植された苗はハウスの中でスクスクと